

[用語説明]

・ IS 値について

IS 値	耐震改修法で定められた構造耐震指標で、値が大きいほど耐震性が高い。
------	-----------------------------------

・ IS 値の目安

0.3 未満	大地震の震動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が高い。
0.3 以上 0.6 未満	大地震の震動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性がある。
0.6 以上	大地震の震動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が低い。

文部科学省は 0.7 以上になるよう求めています。

大地震とは、震度 6 強から震度 7 程度を想定しています。

・ 新耐震基準

新耐震基準	昭和 56 年 6 月の建築基準法改正後の現行耐震基準。 新耐震基準の建物は、震度 6 強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能となっています。昭和 56 年 6 月 1 日以降に建築確認を受けた建物に対して適用されます。
-------	--